

モニタリング結果報告書様式

(厚生労働省24(Ⅱ-4-1))

施策目標名	化学物質の適正な評価・管理を推進し、安全性を確保すること(政策目標Ⅱ-4-1)							
施策の概要	<p>本施策は、次の政策目標を柱に実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒物及び劇物の適正な管理を推進すること ・化学物質の毒性について評価し、適正な管理を推進すること ・家庭用品に含有する化学物質の安全性を確保すること 							
施策の背景・枠組み (根拠法令、政府決定、関連計画等)	<p>生活環境で使用される化学物質について、</p> <p>①急性毒性による健康被害が発生するおそれが高いものを規制。(毒物及び劇物取締法)</p> <p>②人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息若しくは生育に支障を及ぼすおそれがある化学物質による環境の汚染防止(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)</p> <p>③有害物質を含有する家庭用品について必要な規制を実施。(有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律)</p> <p>により、化学物質により健康被害を防止することを目標としている。</p>							
予算書との関係 ・関連税制	本施策は、予算書の以下の項に対応しています。 (項)化学物質安全対策費							
施策の予算額・執行額等 ※「執行額」欄には、独法の運営費交付金は含まない。	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求額	
	予算の 状況 (千円)	当初予算(a)	647,728	526,042	656,087	549,762	481,841	457,579
		補正予算(b)	0	0	△ 107,503	0	0	
		繰越し等(c)	0	0	0	△ 33,159	33,159	
		合計(a+b+c)	647,728	526,042	548,584	516,603	515,000	
	執行額(千円、d)	607,306	471,681	443,462	505,362			
	執行率(%、d/(a+b+c))	94%	90%	81%	98%			
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日		関係部分(概要・記載箇所)				

測定指標	毒物劇物営業者等立入調査における改善率 目標値・基準値については、増加又は減少したことをもって毒物・劇物の適正な管理の推進の達成度を測ることは困難であり、設定していない。	基準値	実績値					目標値
		—	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	—
		—	78.80%	78.30%	72.90%	83.10%		—
		年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	
	家庭用品試買等調査における違反率 目標値・基準値については、増加又は減少したことをもって家庭用品等の身の回りの化学物質の安全性の確保状況を測ることは困難であり、設定していない。	基準値	実績値					目標値
		—	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	—
		—	0.40%	0.52%	0.52%	集計中		—
		年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	
	化学物質の安全性点検	/	施策の進捗状況(実績)					目標
			毎年、目標値については達成しており、達成率も高い。					毎年度
					20試験			

参考・関連資料等	<p>関連法令(右記検索サイトから検索できます) URL: http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/</p> <p>既存化学物質毒性データベース(JECDB) URL: http://dra4.nihs.go.jp/mhlw_data/jsp/SearchPage.jsp</p> <p>既存化学物質安全性情報報告物質一覧 URL: http://dra4.nihs.go.jp/mhlw_data/jsp/ListPage.jsp</p> <p>家庭用品違反率年度別推移(物質別・家庭用品別) URL: http://www.nihs.go.jp/mhlw/chemical/katei/jichitai.html</p>						
----------	---	--	--	--	--	--	--

担当部局名	医薬食品局	作成責任者名	審査管理課 化学物質安全対策室長 長谷部 和久	報告書作成日	平成24年9月
-------	-------	--------	-------------------------------	--------	---------